

# 海外安全対策情報

(2025年1月～3月)

在スイス日本国大使館

## 1 社会・治安情勢

- (1) 一般的には安定していますが、近年、欧州近隣諸国ではテロ等の凶悪事件が発生しており、スイス国内においても同種事件に対する警戒が必要です。
- (2) 観光地を中心に、電車、トラム及びバスの車内ではスリや置き引きに対する注意が必要です。
- (3) 都市部を中心に夜間や早朝の人通りの少ない場所では、暴行、傷害、恐喝、違法薬物取引、性犯罪等も発生しているため、単独行動に際しては安全確保に留意してください。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

### (1) 一般犯罪の傾向

現在、警察や郵便局を装った詐欺メールや、偽の当局（警察、税関）の名前を騙った詐欺電話が頻繁に発生しています。

#### 【メール詐欺】

例① スイスポストからの再配達案内にみせかけた不審な SMS 等によるフィッシング詐欺。メッセージに URL を掲載し、リンクサイト上に、再配達料金等を引き落とすためにクレジットカード情報を入力させる。

例② 連邦警察局長等の個人名を使った脅迫メール。送信者は、受信者が児童ポルノを含む Web サイトにアクセスしたとして刑事訴訟を起こすと脅迫し、送信者に連絡をするように要求する。通常は Word 文書または PDF を添付ファイルとして送信されてくる。

#### このようなメールが届いたら・・・

- ✓ 添付ファイルを開かないでください。
- ✓ メールに返信しないでください。
- ✓ メールを国立サイバーセキュリティセンター（NCSC）に報告してください。  
(<https://www.report.ncsc.admin.ch/en/>)
- ✓ 今後のメールの受信を防ぐには、送信者をスパムとしてマークしてブロックすることができます。

#### 【電話での詐欺】

例① 自動ボイスメッセージ（英語）で「あなたの ID カードが不正使用された可能性がある。コールバック頂きたい。」との不審な電話がくる。このボイスメッセージにコールバックすると、スイス警察の「William Turner」と称する者が応

答し、口頭で ID 番号等を求めてくる。

例② コンピューターで生成された音声で、「警察です。あなたの銀行データが犯罪に関係しているので、電子バンキングにアクセスできるように情報を提供してほしい」と電話がくる。情報を提供すると、犯人はリモート アクセス ツールを使用し、口座から不正送金を行う。

#### このような電話がかかってきたら・・・

- ✓ 電話をすぐに切ってください。
- ✓ クレジットカード情報を提供してしまった場合は、すぐにクレジットカード会社に連絡してカードをブロックしてもらってください。
- ✓ 支払いをしてしまった場合は、支払いを行った銀行にすぐに連絡してください。
- ✓ 誰にもリモートアクセスを許可しないでください。

## (2) 邦人被害事案

### ア 被害例

貴重品（現金、スマートフォン、パスポート）の窃盗が増加しています。

### イ 被害多発地域等

#### (ア) 公共交通機関

チューリッヒ空港（及びチューリッヒ空港駅）、ジュネーブ空港（及びジュネーブ空港駅）、チューリッヒ中央駅、バーゼル S B B 駅、ルツェルン駅、インターラーケン・オスト駅、ヴィスプ駅、ツェルマット駅など。

#### (イ) 観光地

チューリッヒ、ベルン（時計塔、熊公園、バラ公園及び大聖堂周辺）、インターラーケン、グリンデルワルト（ユングフラウヨッホ）、ルツェルン、ジュネーブ、ツェルマットなどのほか、市街地路上、レストラン、ホテルなど

#### (ウ) 手口

- a 電車乗降時に荷物の運搬を手伝うふりをして盗む
- b コインをばらまき注意を引いているうちに盗む
- c 本人又は同行者に声をかけ注意を引いているうちに盗む
- d 駅に電車が停車している間に、荷物棚に置かれたカバンを盗む

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2020年11月2日、オーストリア・ウィーンにおいて発生したイスラム過激派による銃撃事件に関連し、同年11月3日、チューリッヒ州警察は、チューリッヒ州ヴィンタートゥールで18歳と24歳の男2人を逮捕しました。

スイス連邦警察は、逮捕された男2人が2020年7月にウィーンの実行犯と面会しており、どの程度のつながりがあるか等テロとの関連を捜査しています。

(2) 2020年11月24日、スイス南部ティチーノ州ルガーノのデパート内において、28歳のスイス人の女が買い物客2人を襲撃し負傷させる事件が発生しました。

スイス連邦警察は、実行犯の女について、シリアのジハード主義者とオンラインでの関係を形成しており、テロとの関連の可能性も視野に捜査しています。

なお、実行犯の女は、2017年にシリアへ渡航する目的でトルコ国境を越えようと試みましたが、トルコ当局により阻止されスイスへ強制送還され、その後、精神衛生上の問題を抱え精神病院に入院していたとのこと。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

該当する情報には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

該当する情報には接していません。